

教科名（ 国語 ）

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
現代文	3 単位	3 年 1～6 組	＊

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	①日本語の基礎となる、言葉の正しい意味、漢字、基本的な文章表現などを修得する。 ②日本語の文章を正しく読み取る。 ③評論文の学習を通して思索を深め、自己の思想・アイデンティティを形成する。 ④文学作品の学習を通して、人間の思想・情緒・生き方等について学び、人間・人間社会・人生について探求する。 ⑤自己の考えを論理的に正しく他者に伝える能力を身につける。
使用教科書・副教材等	第一学習社『高等学校 現代文』 第一学習社『カラー版新国語便覧』 桐原書店『セレクト漢字検定』 尚文出版『国語必携 パーフェクト演習』 プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考 査 範 囲	評価の観点のポイント				
						態 度	関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	「誘惑する情報」(評論一) 漢字・難しい語句の意味・内容読み取りプリント・漢字小テスト	4	人間社会の中で、単に客観的な領域にとどまらない情報の位置づけ・意味について考える。		第 1 学期中間考査	○				○
	「ホンモノのおカネの作り方」(評論一) 漢字・難しい語句の意味・内容読み取りプリント・漢字小テスト	5	ニセガネつくりのエピソードから入って、社会における貨幣の誕生、役割、貨幣を使って行う経済活動の仕組みなどについて学ぶ。自学自習課題について、小テストを実施して達成度を計る(以下同じ)。			○				○
	「七番目の男」(小説三) 『セレクト漢字検定』	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	子どもの時に遭遇した恐怖体験に耐え切れず、その後の人生を、身を潜めて送ってきた男が、長い年月の後、その恐怖と向き合い、克服しえた体験を語る物語を通じて人生を考える。作品を通じて作者の人間に対する優しさにふれさせたい。 夏休みの宿題の一部を授業中にやって、宿題の完成を促す。		第 1 学期期末考査	○	○			
第 2 学 期	「身体の個別性」(評論三)	9	人間は発達の過程で自己中心性からの脱出を繰り返し、社会性・客観性を身につけ、トータルな世界観を獲得する。しかし究極において個々の身体に付きまといわれている人間が、どのようにして自己中心性から抜け出せるか、世界史の流れも踏まえながら考える。		第 2 学期中間考査			○		○
	「目に見える制度と見えない制度」(評論三)	10	近代社会において人間相互の関係を合理化し、客観化する法律や制度に対して、歴史の過程で無意識に作られた目に見えない制度もなお慣習や習俗としてわれわれの生活を律している。それらの意味を考える。					○		○

	「舞姫」(小説二)	10 ・ 11 ・ 12	高校生活の終盤を迎えて、文豪森鷗外のロマンティズムあふれる作品に取り組む。近代日本の黎明期に、国家的使命を背負って留学した青年が、その使命と、自身の恋愛感情との板ばさみになって苦しみついには挫折する物語を通して、時代と近代的自我の確立について考える。文章が難しいのであらすじをつけて学習する。		第2学期期末考査	○	○		
第3学期	「この村が日本で一番」(評論二)	1 ・ 2 ・ 3	グローバル化社会の中で、自分自身が生活している土地にこだわるローカリズムの意味を考える。		学年末考査	○	○		
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業で使用したすべてのプリント、ノート、長期休暇中の宿題、その他折々の課題。									
【1・2・3学期における評価方法】 定期考査(約70%) 平常点(出欠・授業中の態度・提出物等 約30%) 1・2・3学期の成績の出し方は内規通り。									